

平成 20 年 3 月 1 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

直木三十五記念館

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

からほり倶楽部 空堀ことば塾 オダサク倶楽部 西代官山クラブ

2 事業のテーマ・タイトル

連続文化講座「可能性のまち上町台地」の開催

応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8 月	企画の詳細の決定と広報用チラシの制作
9 月	連続講座その1 上方歌舞伎をめぐる中寺町界隈のまち歩きの開催 講師 河内厚郎
10 月	連続講座その2 「学びの場としての上町台地の可能性」ダイアログと講演会 ダイアログ 塙 狼星 × 小辻昌平 講演会 玄月 連続講座その3 トークバトル「可能性の文学」 井村身恒 × 小辻昌平
11 月	連続講座その4 ティーチイン「観光としての上町台地文学めぐりの可能性」 小田切聡 + 小辻昌平 連続講座その5 落語の舞台となった空堀～上町台地を巡るまち歩き 案内人 小辻昌平
12 月	連続講座 + 「うたがまちに空堀に」 大塚まさじライブ 公開事業報告会の開催
1 月	成課報告書としての会報の編集会議
2 月	会報の発行と関係各位への配布

実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	上町台地をいくつかの文化的な切り口で考察した本講座を通して、新たな上町台地の魅力を微力ながら紹介することができたと感じる。 講座に参加された参加者の方々のみならず、主催した我々にも新たな可能性を感じる講座となり、今後の記念館の果たすべき機能のひとつとして想定されている、文化情報の発信基地としての役割の重要性をさらに明確に示すことができた。
今後の 展 望	本講座の中でも議論された「着地型」という方向性、つまりはそこに行けば何かを体験できる、知ることができるという機能を充実させることの重要性と、「参加型」というものを具体化するための方策を今後は実現していきたい。 具体的には、記念館とその周辺の文学的資産を紹介できるボランティアガイドの育成、直木作品や直木賞作品の読書会の開催などを計画していく。

「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。